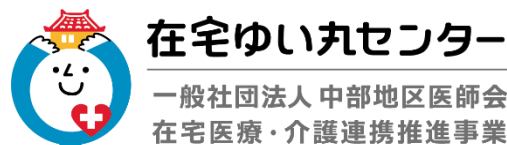


## 高齢者シリーズ研修会（第1弾） アンケート集計結果報告書



日時：令和5年6月30日（金）19：00～21：00

開催方法：会場（中部地区医師会立ぐしかわ看護専門学校） + オンライン（Zoom）開催

テーマ：『身寄りのない人の意思決定支援』

～身寄りがない人の入院及び医療に係る

意思決定が困難な人への支援に関するガイドラインについて～

周知方法：当センターHPへ掲載、メーリングリスト一斉送信、等

周知範囲：中部地区12市町村の医療介護関係施設（約1748か所）、他

### ●参加者数

**会場** 参加人数：86名 アンケート回答数：56名（回答率：約65%）

**Zoom** 合計アカウント数（途中退席も含む）：71アカウント

アンケート回答数：49アカウント（回答率：約69%）

※49アカウント中、10アカウントは、（Zoom参加）代表者がアンケート回答済みにより人数把握ができないため、視聴人数を1名とする。

アンケートに回答した49アカウントの視聴人数：計48名 ※下記参照

Zoomトータル視聴人数：※10名+48名=58名

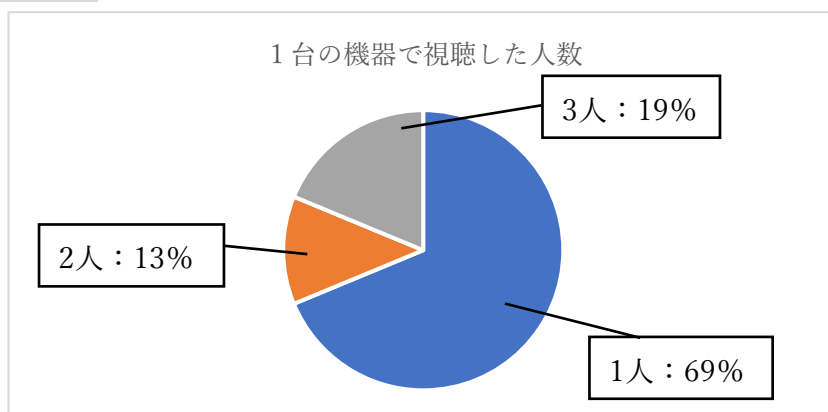
**合計** 参加人数：86名（会場）+71名（Zoom）=157名 トータル参加人数157名

アンケート回答数：56名（会場）+49（Zoom）=105名（回答率：67%）

### ●1台の機器で視聴した人数の割合

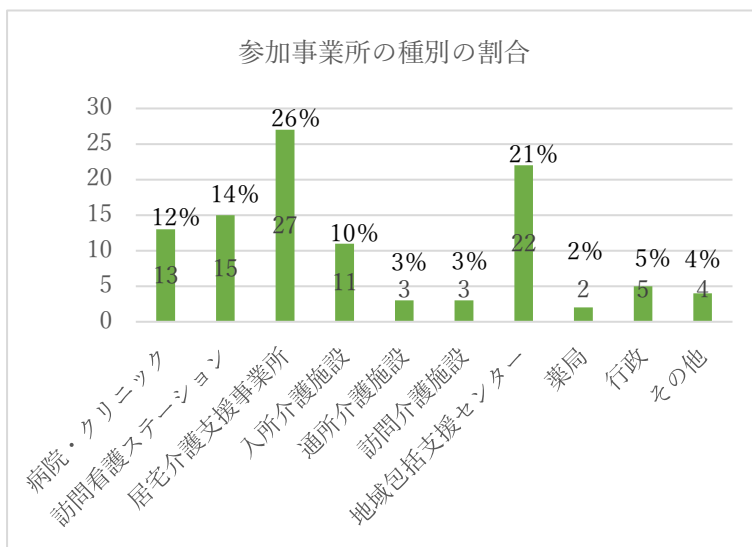
	数	割合
1人で視聴	33	69%
2人	3	13%
3人	3	19%

1人×33アカ=33人  
2人×3アカ=6人  
3人×3アカ=9人  
} 48名



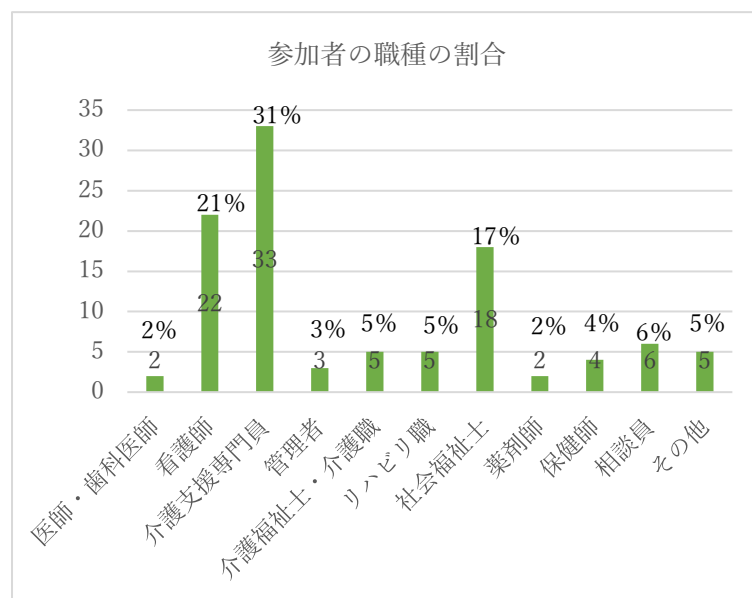
### ●参加事業所の種別の割合

	数	割合
病院・クリニック	13	12%
訪問看護ステーション	15	14%
居宅介護支援事業	27	26%
入所介護施設	11	10%
通所介護施設	3	3%
訪問介護施設	3	3%
地域包括支援センター	22	21%
薬局	2	2%
行政	5	5%
その他	6	4%



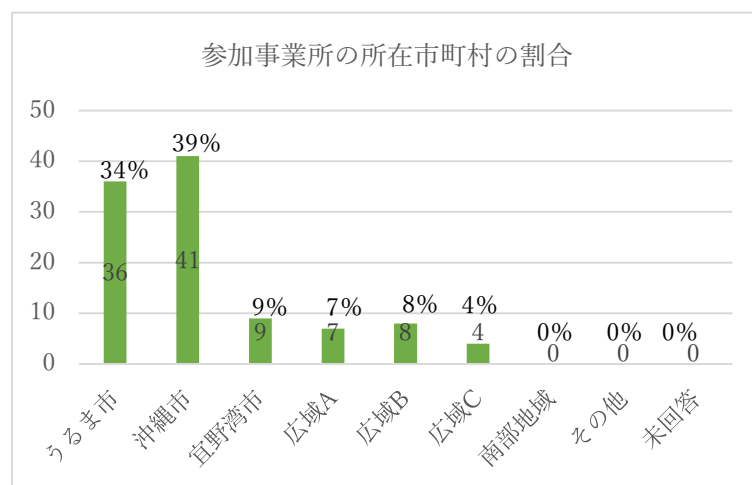
### ●参加者の職種の割合

	数	割合
医師・歯科医師	2	2%
看護師	22	21%
介護支援専門員	33	31%
管理者	3	3%
介護福祉士・介護職	5	5%
リハビリ職	5	5%
社会福祉士	18	17%
薬剤師	2	2%
保健師	4	4%
相談員	6	6%
その他	5	5%



### ●参加事業所の所在市町村の割合

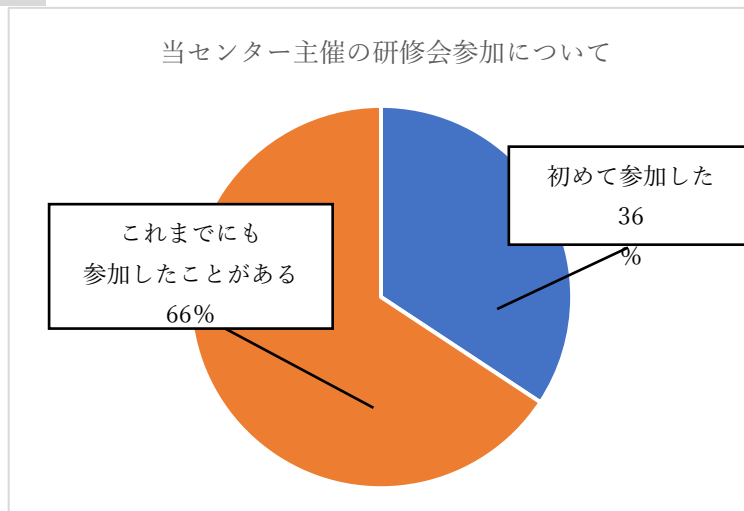
	数	割合
うるま市	36	34%
沖縄市	41	39%
宜野湾市	9	9%
広域A	7	7%
広域B	8	8%
広域C	4	4%
南部地域	0	0%
その他	0	0%
未回答	0	0%



※広域A：金武町・宜野座村・恩納村  
 ※広域B：北谷町・嘉手納町・読谷村  
 ※広域C：西原町・中城村・北中城村

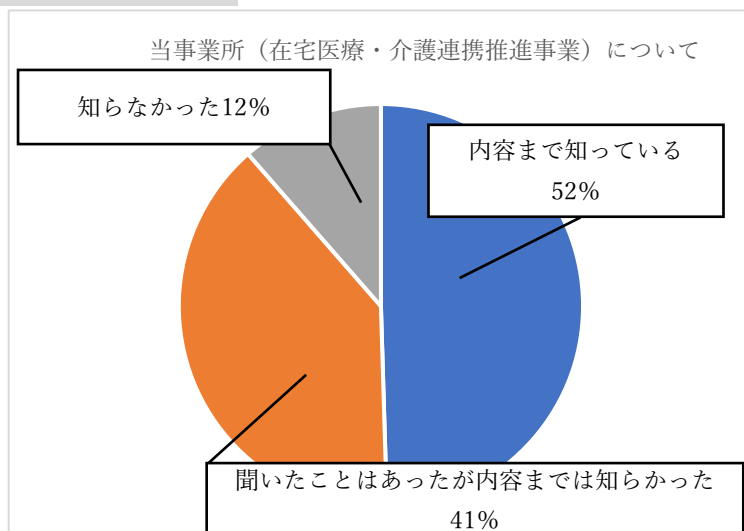
●当センター主催の研修会参加について

	割合
初めて参加した	36%
これまでも参加したことがある	69%



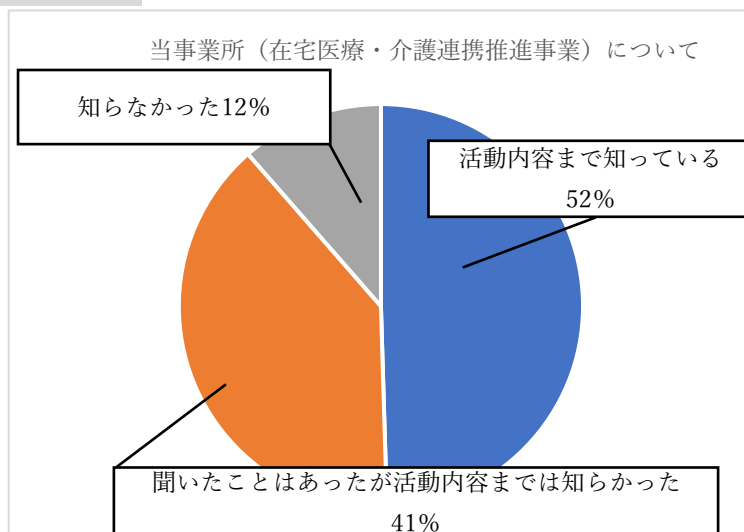
●当事業所（在宅医療・介護連携推進事業）について

	割合
内容まで知っている	52%
聞いたことはあったが 内容までは知らなかった	41%
知らなかった	12%



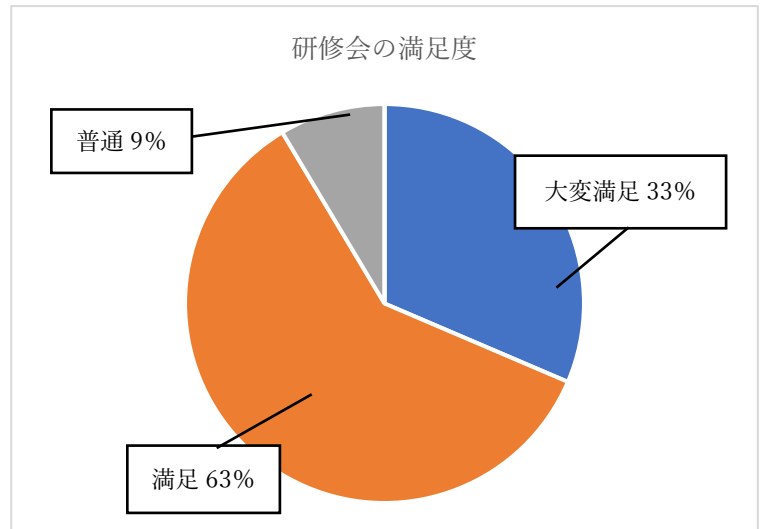
●当センター（在宅ゆい丸センター）について

	割合
活動内容まで知っている	52%
聞いたことはあったが 活動内容までは知らなかった	41%
知らなかった	12%



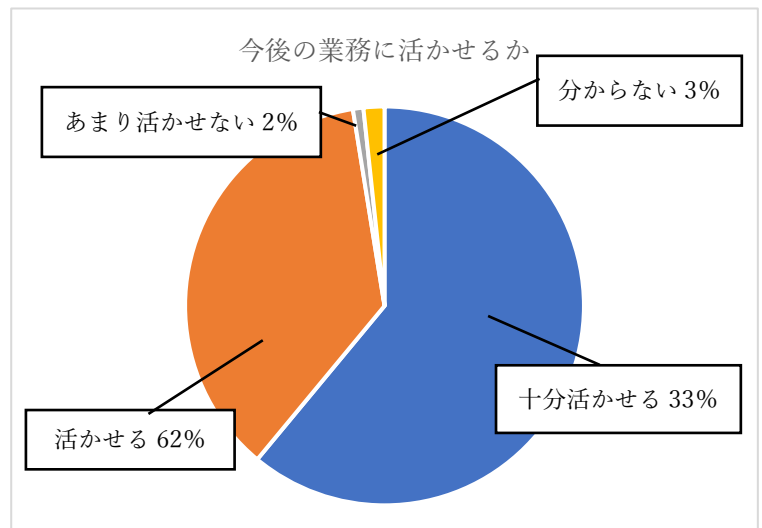
●研修会の満足度

	数	割合
大変満足	33	31%
満足	63	60%
普通	9	9%
あまり満足でない	0	0%



●今後の業務に活かせるか

	数	割合
十分活かせる	35	33%
活かせる	65	62%
あまり活かせない	2	2%
分からない	3	3%



●当研修会の感想

1	後見人制度について学ぶ機会が中々なく、そもそもどういった方に必要なものなのか、後見人にも種類や条件があり、委任されている権限も違う事がわかり勉強になりました。また内容を整理しつつ、必要な方に正しい意思決定を促せる選択肢の一つとして提案したり、連携したりできるように今後に活かしていきたい。
2	とても良い講話をされていたと思いますが音響のせい？聞き取りにくいことが多々ありました
3	成年後見人の部分 本人ファーストの考え
4	後見人制度の事が深く学ぶ事ができた。
5	実際の事例で紹介してくれるともっと理解しやすい。
6	医療機関入院の際の身元保証人必須は法的根拠は無い
7	触ったことのない分野でわからないことだらけだったが、学ぶ機会ができとても良かったです
8	後半部分を町民向けにできればいいなと思いました。
9	勉強になります
10	ケアマネは何かと便利屋的な役割を押し付けられがちです。今日の研修を受けて、ケアマネの立ち位置に自信を持って対応していくことができると思います。
11	かなり難しかった
12	今後支援をしていく上で学ぶべき事だと思いました。
13	契約書を結ぶ際の留意点について、有効なものなのかを考慮する一助となった。
14	わかりやすく、支援に活かしたい
15	やや難しい所もありましたが、勉強になりました。
16	身寄りがない人の意思決定でしたがあくまで主体は本人ということを忘れないようにしたいです。
17	後見人の役割を詳しく知る事が出来た
18	死後事務委任契約が勉強になりました。
19	普段法律の話など聞かないのでとても勉強になりました。
20	キーパーソンいない問題は多いけど本当に必要なのか考える必要もありそう
21	後見人の事など内容まで知らなかったのもとてもありがたかったです。
22	難しかったです。もう少し自己で学ばなければいけません。
23	成年後見人制度についてよくわかりました。今後に役立てていきたいです。
24	先生のお話をゆっくりと聞く事が出来ればと思いました。難しい内容の話をととても分かりやすくまとめて頂きありがたいです。
25	マイクの状況なのか、講師の声が聞きづらい
26	普段理解できていない分野の知識を得ることができて有意義であった
27	勉強になりました
28	声が少し聞きとりにくかった
29	市町村で後見人報酬を助成しているとあり、うちの市町村ではないので、研修でもあったと行政へ要望していきたい。
30	後見人の立ち位置や身寄りのない方へのつ変わりが変わった

31	後見人制度の内容がわかりやすかった
32	記録の重要性普段出来ていない事が多いので意識して変えていきます。
33	ACP(本人を中心に)考えること、身体拘束について個別に確認することが重要だと学んだ
34	単頭している方の今後について必要な支援として制度の活用を視野に入れた支援を行っていこうと思いました
35	弁護士の方の話を聞く機会が中々ないのでよかったです。
36	身寄りのない方のみではなく、認知症患者の支援に役立つ研修会でした。
37	今後、身寄りのない方というのは増えてくると思うので、やはり成年後見人制度は必要な制度だと思う
38	後見人の事がキーパーソンのイメージしかなかったので、その人の役割など知ることができて良かったです
39	色々知れてよかったです
40	丁寧な説明分かりやすかったです、ありがとうございました
41	施設での契約等で、家族の意思ではなく本人だったらと考えて進める事
42	制度について再確認する事が出来た。
43	本人の意思確認の仕方をもっと工夫をしていかなければと感じました。
44	今回の研修のご本人の判断能力が不十分な場合でもご本人の意思を尊重するのが大切ということが、退院支援を行う上で忘れてしまいそうになりますが、大事な支援のあり方だと再認識させていただきました。
45	身寄りのない方でケアマネが業務外で色々動かないといけないイメージがありましたが、ガイドラインも活用しながら、役割分担が出来るようにしたいと思いました。
46	本人と一緒に考え実現を目指す過程が大事、とのお話し、本当そうですね。ありがとうございました
47	身寄りのない方の支援をする上で、医療機関との入院時の連携や調整で役立つ知識を学ぶことができた。
48	全ての人には自分のことを決める力がある。と言う前提で支援をしないといけない
49	本人が中心である意思決定支援であることを学んだ。
50	特に、医療に係る意思決定が困難な場合の対応について、法人全体で研修会ができればと思いました。
51	色々な方々の事情がある事をしり、今回を機に話し合う際相手の立場を理解した上での交渉が可能となりそうです。
52	身寄りのない利用者様への解決策が分かりました。
53	家族信託について、もっと詳しく教えて頂きたいです。
54	かなりのスピードで、独居の方、また、認知症の方が増えているのを実感しています。今後も情報をとって行かないといけないと考えています。
55	後見人制度について大まかにしかわからなかったので今日の研修会で丁寧に講演いただきました。時間が短く自身の知識不足で理解が難しい点もありました。訪問看護で身寄りのない方や家

	族と疎遠になっている方がいらっしゃいます。今後必要になる時があると思われ参考になりました。ありがとうございました。
56	身寄りのない方は今後増えると予測される中で、当施設は身元引受人を3人記載が必須である。しかしその身元引受人も高齢者だったり緊急な対応の時には連絡取りづらい事も発生している。今回の研修を元に施設内での課題も感じた。今後も弁護士寺田先生の講座を深めて聞いてみたい。
57	医療機関や警察などに、キーパーソンを求められたり、緊急連絡先、身元引受など求められること多々あります。最近も身寄りいない為リハビリ転院先に受け入れ拒否された方についてどうしたら良いかとケアマネさんから困って相談あったケースもありました。身寄りがない方を引受ない事はガイドライン違反とわかりましたが、そうは言っても福祉職側からなかなか医療機関に強く訴えできない現状があります。身寄りなし＝治療、入院の権利すら拒否の現状が目に見えて増えてきており国県市町村で考えていけないといけない課題なのかなと思います。後見制度ももっと身近に活用できるような手続き方法や仕組みになっていくことを願います。
58	身寄りのない方の入院の課題は多く、緊急連絡先が地域包括になることがあり課題であると思います。
59	意思決定支援のあり方を再確認することができました。「主役は本人！」忘れずに。
60	心身の状態に応じて意志は変化するので何度も話し合う必要があるは理解出来たので現場で活かしていきたいと思いました。
61	意思決定支援の基本的な考え方や支援するご本人や家族への関わり方、成年後見制度や身体拘束などの同意書の重要性など、多岐に渡り学ぶ事ができました。受講させて頂き、良かったです。
62	身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドラインが有る事、事業所の研修で活用して知識を深めたい。
63	業務に流されず、その人が主役である事を忘れずに対応していく事。
64	最近、ここ宜野座村でも独居で身寄りのない方が増えているように感じます。とても興味のあるテーマでした。また、寺田先生のお話分かりやすく楽しく参加させていただきました。やはり施設入所や病院受診でトラブルになったり、包括へ連絡が来て対応し困難事例となっています。今日のお話で支援側が望んでいる形を本人が望んでいるのかという視点にハツとなりました。今後の支援を行なって行く中で参考にしたいと思いました。ありがとうございました。
65	入院時保証人(厚労省の通達)について、市町村として正しい情報を知っていなければいけないと感じた。意思決定の種類がパターンで示されており、どこまでやるか？という支援の迷いや不安の解消につながると感じた。
66	身体拘束について、要件満たさない場合には直ちに解除する対応、ケア方法など事例もあればと思った。
67	いつも生活保護と成年後見への意識はありましたが、生活困窮者自立支援制度・日常生活自立支援事業等についても学んでおきたいと思いました。またやはりその方が十分に判断できる時に入院退院の事や亡くなった後の事など話し合っておくことがとても重要な事だと認識させられました。ありがとうございました。
68	本日は貴重な講演、研修会を開催していただきありがとうございました。意思決定支援の中であくまでも主役はご本人である、本人を置いてけぼりにしていませんか？という寺田先生の問いか

	けに私自身思いあたる節もあり、これまでの支援や関わり方を振り返る機会になりました。時間はかかると思いますが、本人に寄り添い本人の目線に合わせて本人が自ら望む生活により近づけるようこれからの業務に活かしていきたいです。本日はありがとうございました。
69	後見人とはどういう業務である。業務の範囲。入院保証に関する事など学び事が出来ました。
70	音声がやや聞き取りづらかったです。会場との同時開催だと仕方がないのかもしれないですね。
71	質問に答えて頂きありがとうございました。本人や知人の方と相談し、本人のためになるような制度活用ができるように引き継ぎ支援していきます。
72	身寄りのない方の意思決定のあり方で、支援者は本人の安全面や今後の生活状況を考えると施設入居だと考えがちだが、本人は自宅で生活したいと言う思いが強くなかなか方向性が決まらない事が時々ありますが、今回の研修で、すべての人には自分のことを決める権利、力がある。と言う部分が印象に残りました。チームでどうすれば本人が希望する生活が送れるか検討し実施、それでも難しい時はその時に考えればいいのだと思いました。本人の人生なので、しっかり説明を行い後先の事も説明し納得した上で意思決定した方が本人も悔いのない人生が送れると思いました。成年後見人の事などいろいろ勉強になりましたが少しペースが早く理解が難しかったです。資料を振り返り勉強させて頂きます。ありがとうございました。
73	歯科ではあまりでくわさないのが新鮮でした
74	身寄りのない方の入院の契約などについては勉強になりました。もう少し聞きたかったです。
75	意思決定が困難なときの権利擁護の場面でこれまでは、成年後見人には代理決定の権限があると思っていました。制度の理解が半端であったことを反省しました。本人の意思決定が最優先するのなら、日頃から文書に意思を残したり、複数の関連する周りの人達に伝えておくことがやはり、重要だと思います。権利擁護も本人の選択であるという立ち位置をもつように啓発活動がなされるように、医療福祉に関わる職種が学び、紹介するべきだと考えました。研修をありがとうございました。
76	今回の研修をうけ、支援者だけで話していることもあった気がしました。今後は主役は本人であることを忘れてはいけないと感じました。
77	今回の研修にて、入院するにあたって、保証人は、必要ない事、保証人がいなくて、その同意の必要のない医療的な処置がある事、後見人が必要な場合がわかりました。この事で、身寄りがいない方の支援への根拠に役立てると感じました。
78	施設スタッフとの連携について、より考えるべきところが見つかりました。
79	医療に関しての制約や意思決定の難しさを改めて知りました。このご時世だからの問題でもあり、また私自身にもつながる感じもしました。
80	言葉が早くて聞き取りにくかった。入院時の身元引受人について
81	退院支援の業務なので身寄りがいない支援が多くなっているのがヒントを得ました
82	支援を決めるときは、チームで意見を出しあい、記録することが大切と感じました。
83	成年後見人ができることや、死後事務委任契約について知ることができた。ガイドラインを確認して、医療と連携が図れるようにしたい。



84	わかりやすい資料の提供などありがとうございました。残念だったのは、寺田先生の声がマイクを通していたのですが、聞き取りにくかったのが残念でした。次回は、舞台の上に先生の席を設け、マスクを外してマイクで話されては、と思いました。ご講演本当にお疲れ様でした。
85	施設として、身寄りのない方の受け入れを関係者と連携し対応に心掛けたい。しかし、人は1人では生きられないし、死ねない。ことを健在な時に知ることが必要かと思っています。
86	契約書には本人や身元引受人以外に代理人が署名する箇所が必要であると感じました。研修内容とは違いますが音響の問題か私の席の位置の問題か空調の音が原因か分かりませんが講師の先生の言葉が聞き辛く内容を聞き取ろうと少し苦労しました。
87	本人の意思を尊重する…という大切さを改めて知る事ができました。そのためには、支援側が具体的にどう接するのかを学べ、これからの業務でも肝に銘じてすすめていけそうです。あと、要望としまして、寺田先生のお声が聞き取りにくかったので、次回も同じ会場の際は改善をお願いしたいです。
88	成年後見人を立てることについて、費用が高く、低所得者や生活保護受給の方等にはハードルが高いので相談すらしていませんでしたが、相談によってはクリアできる可能性もあることを知りました。しかし、独居、身寄りのない方への財産、金銭管理以外にも、定期受診支援、緊急時の支援、入退院支援、死去後の整理等、まだまだ課題が山積みで、結構ケアマネに投げられることも多いので、不安はまだあります。
89	今回は身寄りのない方が医療を受ける上での課題を取り上げていただきました。それは、数回の取り組みだけでは正解の出ない難題ですが、それでもどこよりも先駆けて取り上げていただけたことに意義があると思います。これを契機に、その協議をさらに深めて、さらには介護サービスや施設入所する際にも、身寄りがないことがマイナスにならない世の中に変えていくための足がかりになればと思います。
90	もっと身元保証会社が増えて料金も下がってくればいいのになと思いました。
91	身寄りのない方の対応に皆さん、苦労しているが、研修を聞いて、少しは気持ちが楽になったが、まだ課題はあるので、このような研修をもっと開催してほしい
92	日頃ケアマネ業務に従事しながらもう少し私たちの業務内容を医療機関が理解していただけたらと思っていました。本日医療機関の参加者が多くいる中、しっかり講師の言葉が伝わったことを期待しております
93	どちらかというと、成年後見制度の説明が多かったような。。
94	振り返りができた。
95	制度そのものが分からなかったので少し難しかったです。
96	もう少しゆっくり聞きたい内容でした。
97	とても勉強になりました
98	後見人制度について分かりやすく学ぶ事が出来た
99	成年後見制度について、わかりやすく説明していただいたと思います、また、意思決定支援のあり方について、ご本人の意思の尊重の原則を忘れずに支援することの大切さを改めて学ぶことができました。ありがとうございました。

100	後見人の業務内容や主の意思確認についての確認していくことの大事さを再確認しましたが。難しい事ですね。
101	独居、認知症の利用者支援が増えケアマネの負担があります。今後の支援にも大変役立ち勉強になりました。ありがとうございました。
102	日自、後見人の役目、仕事内容を知る事ができた

●高齢者シリーズ研修会第2弾（10/25）へのご要望、その他開催して欲しいテーマ

黄色：高齢者シリーズ研修会第2弾へのご要望 青色：その他

1	是非同じテーマでお願いします
2	続編を
3	身寄りのない方の地域への詳しい帰り方等
4	zoomでもして欲しい
5	法定後見と任意後見の実務上の細かい内容を知りたいです。
6	後見人第2
7	事例に基づいた支援方法などがあるとイメージしやすいかと思いました
8	利用できる制度
9	後見制度の活用事例を学びたい。沖縄県で実際に申請から決定、後見人の事務について学びたい。
10	信託制度の活用方法について
11	今回のものを実際の事例で考えてみたい
12	引き続き意思決定ガイドラインに沿った場面から学びたい。
13	身寄りのない方の家とかお墓とは、亡くなったらどうなるのか、聞きたかったです。また身寄りのない方の事聞きたかったです。
14	今回は、内容の範囲が広くて、講師が早口になっていたようなので、少し範囲を限定してもいいのかなと感じました。テーマについて、障害について、使える制度について、あるといいと思います。
15	寺田先生の法的シリーズに興味があります。在宅あるあるでなんでもいいです。
16	身寄りがいない、身元引受人がいない、キーパーソンがしっかりしていないことを理由に入院を断られたことは多々ありました。行政や包括、介護支援専門員だけでこの問題を解決していくのは困難です。医療機関側の事情やお考えもあると思いますが、急性期病院だけではなく、他の医療機関の医師やMSW、専門職の方にももっと研修会に参加頂きこの問題について考える機会を持っていただきたいです。
17	成年後見制度や高齢者虐待について事例を通して細かく学びたいです。
18	最後、会場からの質問にもありましたが、『支援機関でのたらい回し？押し付け合い？がおこらないようにするには…』や『身寄りのない人の支援…パート2』とかで、答えきれなかった質問についてや、今回集まった意見をさらに深掘りする研修もあれば良いかなと思いました。
19	基本的な事にはなると思いますがガイドラインそのものを説明、解釈するような勉強会を開催してほしい。
20	国や自治体が避けてきたとも思える、根塊の「身寄りのない方の権利」にスポットを当て続けていただきたいと思います。

21	色々な制度等が学びたい
22	医療-介護連携。本当に病院でしか出来ない事なのか、制度をうまく使って高齢者を在宅(施設含む)で過ごせるための支援。 高齢者が入院することでのメリット、デメリットなど
23	上手くいった事例、ちょっと工夫したら改善した事例、最初は納得しなかったけど視点や捉え方を変えたら腑に落ちた事例
24	災害
25	後期高齢者をケアするにあたり必要な社会資源
26	長期入院でケアマネが外れた方への退院時チームビルディング
27	グループでのケーススタディ
28	独居高齢者や身寄りのない方への通院や緊急時支援の方法、難病の方の在宅支援（日中家族不在、独居など）など。
29	在宅での終末医療のあり方について
30	医療、介護の共通言語について改めて共有する機会が欲しいです。
31	歳をとっても介護ができるのか
32	実際のケース内容の話
33	認知症の対応について学びたいです。
34	認知者の高齢者、老老介護の方への支援について
35	認知症について
36	他職種連携
37	終活について
38	自宅、施設での看取りについて
39	認知症の方の終末期の意思決定
40	在宅復帰に関すること
41	在宅支援への在り方
42	BCP 高齢者支援
43	認知高齢者に対する適切な対応
44	高齢者、その家族を含めた支援などのテーマの研修を行ってほしい
45	看取り、終末期介護について、
46	在宅での認知症の方の対応について。家族の精神的なケア等。
47	高齢者虐待について。国から研修を受けように通達があるが、なかなか研修自体が無いため、行って欲しい、
48	コロナの感染状況が不安なためグループワークはまだ懸念しております
49	ACP や人生会議、看取りについて
50	各市町村の高齢者を支えるサービスや取り組みなどの事例など学べると助かります。
51	急性期病院から自宅退院を急に言われる高齢者が多い。次の入退院の研修はとても良いと思います！
52	現場で活用できるグループワークを希望します。
53	フレイル

54	在宅医療やサービスと病院との病診連携が図れるような、内容の研修をお願いしたいです。
55	在宅での看取り 医療、介護 居住系サービスの連携
56	高齢者の問題行動。認知症の方の接し方
57	認知症が疑われる高齢者を医療につなぐ支援方法について(本人や家族が受診に対して消極的)
58	表現しにくいですが、薬は飲まなくてもいいと考える高齢の方も意外と多いものです。なぜ薬を飲まないといけないのか？又飲まなくてもいいと考える高齢者に飲んでもらう為にどのような説明がいいのか等服薬についての研修を希望致します。
59	困難事例
60	高齢者の身体的変化、社会的立場への変化に伴う喪失感への理解と支援
61	入退院時の病院のソーシャルワーカーと施設ケアマネとの連携について。 病院と施設間では相談員の同士での調整は行われているが、利用者様本人のことをアセスメントし、ケアプランを作成しているのは施設ケアマネ。単なる調整ではなく本人の支援のためには病院側にも施設ケアマネの役割を理解してほしい。
62	8050 問題。介護保険や医療保険等でお母さんは支援行えているが娘さんが専門病院へ受診せず行政、病院、訪看等に相談するも本人の同意や希望、受診がないと対応が難しいと言う事で、お母さんの認知悪化にも影響が出ているため、どう支援したらいいのか支援方法など学べる機会があると助かります。
63	老年期のうつ病にたいする理解、対応啓発の状況などについての研修
64	市町村の連携や協力できる体制を敏速に構築出来たらいいなと思います。
65	①認知症の方を専門医へ受診に繋げるには。 ②家族や本人に理解してもらうには。
66	治療を終えても吸引などの処置で施設へ戻れないケースが多く、調整にも時間がかかる 施設の現状や情報交換をしたい
67	高齢者の住宅問題解決など
68	高齢者虐待について
69	介護技術など現場で使えるような研修
70	ITを活用した。人と人とのネットワークづくりの例があれば知りたいです。(高齢者のネットワークづくり)
71	医療受診拒否への対応
72	どのように意思決定の支援をしたか。意思決定をした事例報告
73	身寄りが無い人のサービス利用について。 保証人がいないからと、施設入所や介護サービスに繋ぐ事ができなくて困っています。 このテーマも取り上げてほしいです。
74	まだまだコロナが落ちつかないため研修場所集合よりどこからでも参加できるハイブリッドだと参加しやすいです。
75	受診同行、院内介助について
76	支援者のいない方の支援について
77	依存症高齢者支援について勉強不足な点が多々あります。よろしく願いいたします。
78	認知症虐待問題

## ＼高齢者シリーズ研修会 会場の様子／

